

2021年2月16日リリース(初号)

看護職養成校の新型コロナウイルス（COVID-19） 感染拡大への対応に関する調査 集計概要

～臨地実習とICT関連授業の扱いを中心に～

調査方法：郵送留置式アンケート

調査期間：2020年11月16日～12月7日締め切り

[回答期間およそ3週間]



一般社団法人 日本看護学校協議会 共済会
Japan Nursing School Benefit Association

1. 調査概要

【調査対象】

2020年11月現在、一般社団法人日本看護学校協議会共済会の総合補償制度「Will」にご加入いただいている全国1,017の看護職養成校に調査依頼。

【方法】

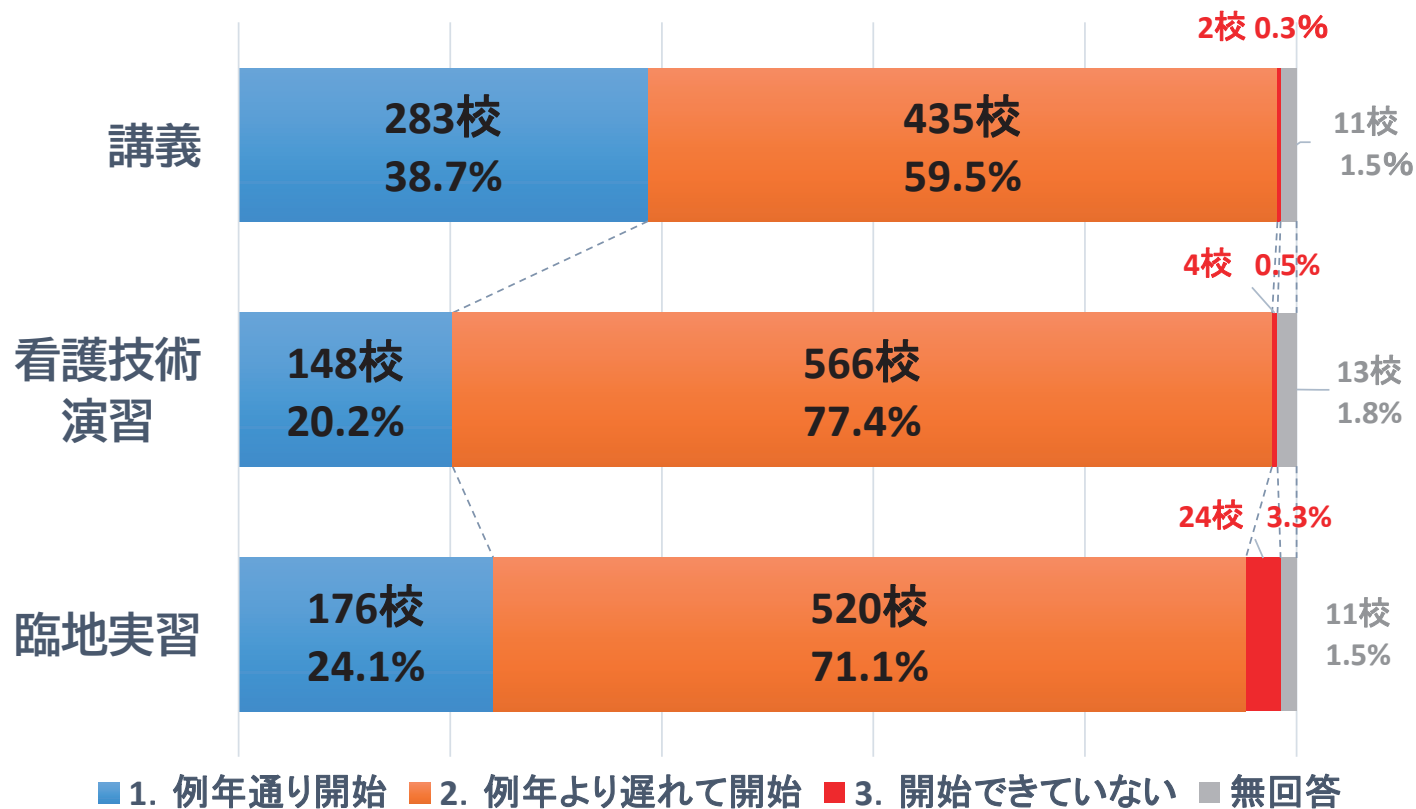
- 調査概要を記した協力依頼書とアンケートを郵送。
- 調査に賛同の場合のみ回答・返送。
- アンケートに学校名記入欄なし。匿名回答。

回答数 731校

回収率 71.9%

学校種別		
看護師養成校 634校 86.7%	大学	125校
	短期大学	9校
	看護師養成所 (専修学校・専門学校等)	451校
	高等学校5年一貫校	49校
准看護師養成校 49校 6.7%	高等学校衛生看護科	9校
	准看護師養成校	40校
	その他(各種学校等) <small>※看護師、准看護師の別、不明、両方の養成校も含む</small>	47校
	無回答	1校
	計	731校

2. 新型コロナ(COVID-19)流行による授業開始遅延状況



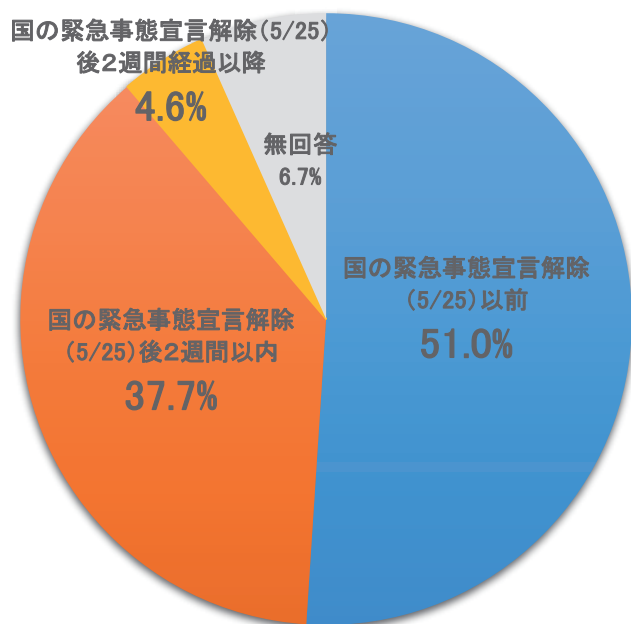
講義、看護技術演習、臨地実習のいずれも、例年より遅れて開始となった養成校が多かったが、看護技術演習および臨地実習の開始は70.0%以上の養成校で遅れたことがわかった。

3. 遅れて開始した場合の開始時期

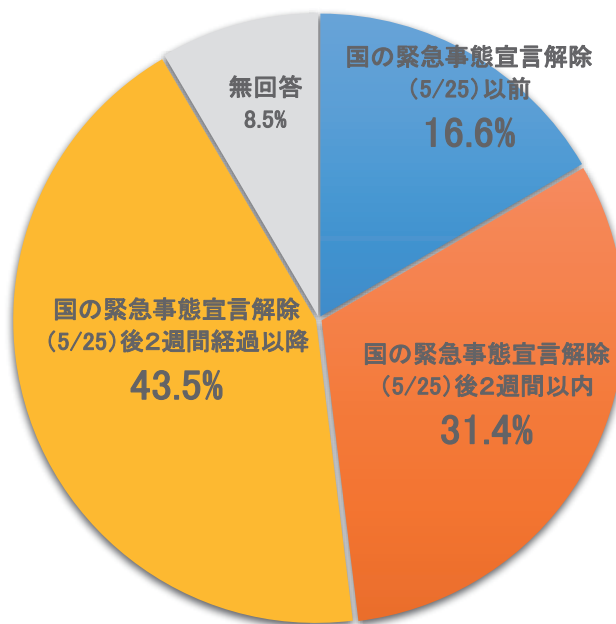
約半数の養成校で、講義は5月25日以前に開始できたが、演習や実習の開始は、5月25日より2週間以上遅れた養成校が多い。

- 国の緊急事態宣言解除 (5/25) 以前
- 国の緊急事態宣言解除 (5/25) 後2週間以内
- 国の緊急事態宣言解除 (5/25) 後2週間経過以降
- 無回答

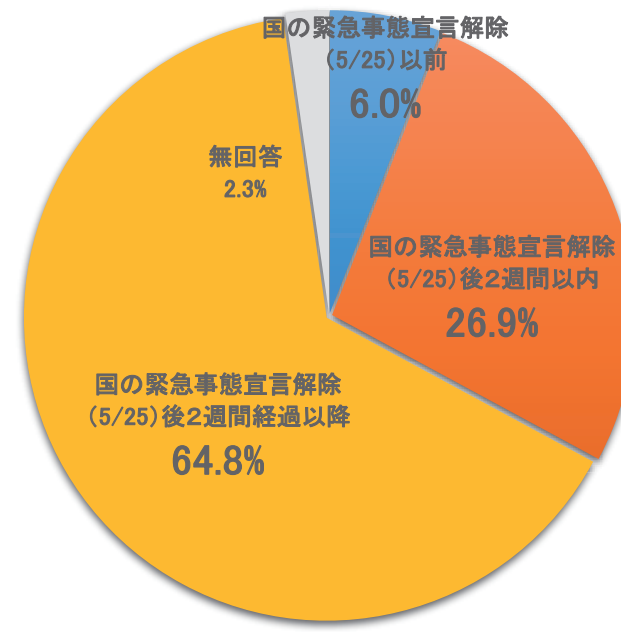
講義 開始時期



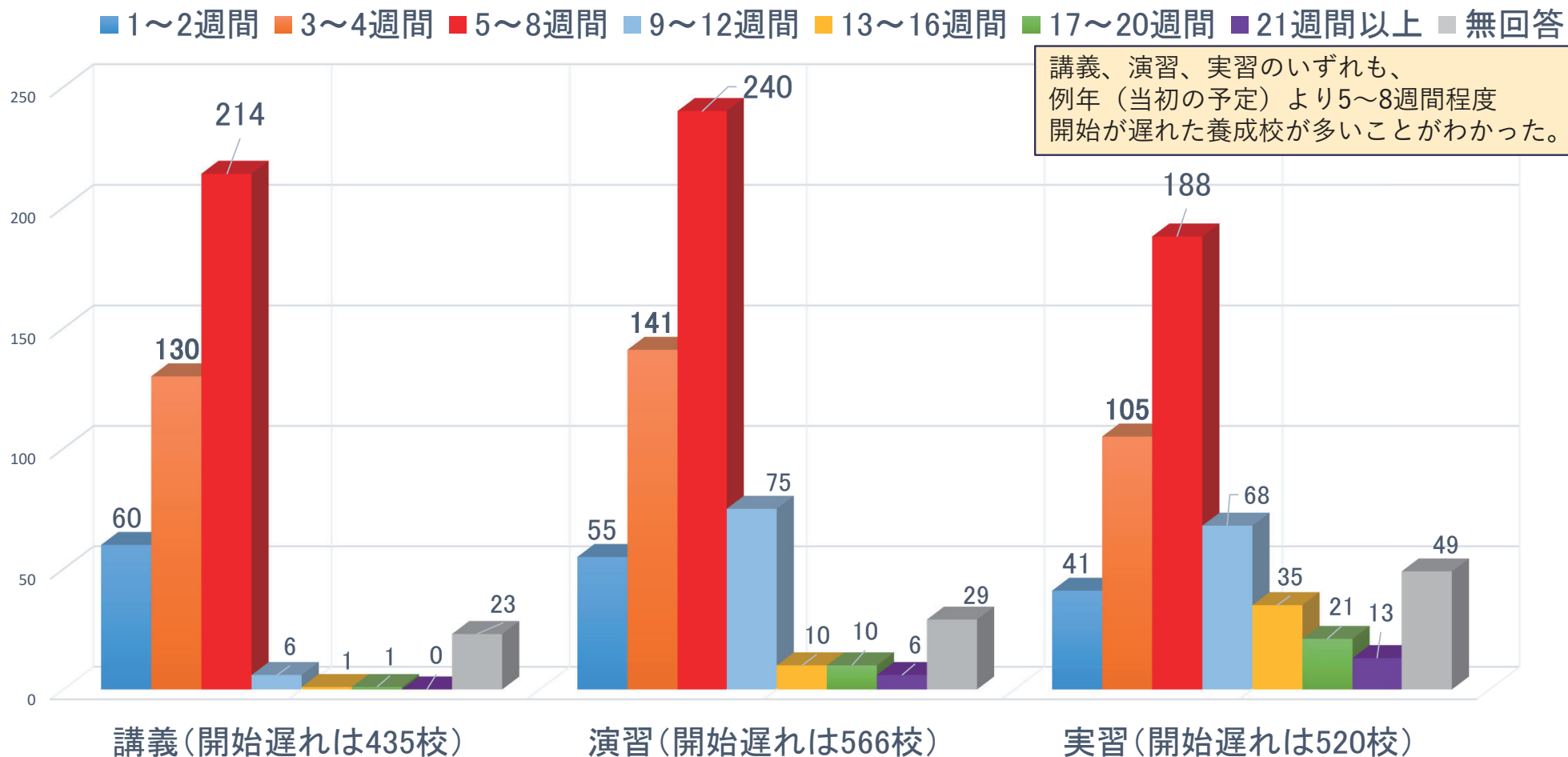
看護技術演習 開始時期



臨地実習 開始時期



4. 遅れて開始した場合の開始遅延週数 ※当初の予定より遅れた週数



5. 非対面（遠隔・リモート）方式の授業の実施状況

※ 授業は、講義・看護技術演習・臨地実習のいずれかで実施しているか。

※2020年回答日時点について

■ 導入している ■ 導入準備中 ■ 未導入で導入予定なし ■ 無回答



6. 非対面(遠隔・リモート)方式の講義の実施状況

※2020年回答日時点について

講義開始状況	非対面講義の実施状況	回答校数	割合
講義を開始できている 718校	実施している	528校	72.2%
	実施していない	184校	25.2%
	無回答	6校	0.8%
講義を開始できていない		2校	0.3%
講義開始状況 無回答		11校	1.5%
計		731校	100.0%

※ 本調査報告書(冊子)中では、回答日時点で講義を開始できている718校を母数とした割合を紹介している。

7. 非対面(遠隔・リモート)方式の看護技術演習の実施状況

※2020年回答日時点について

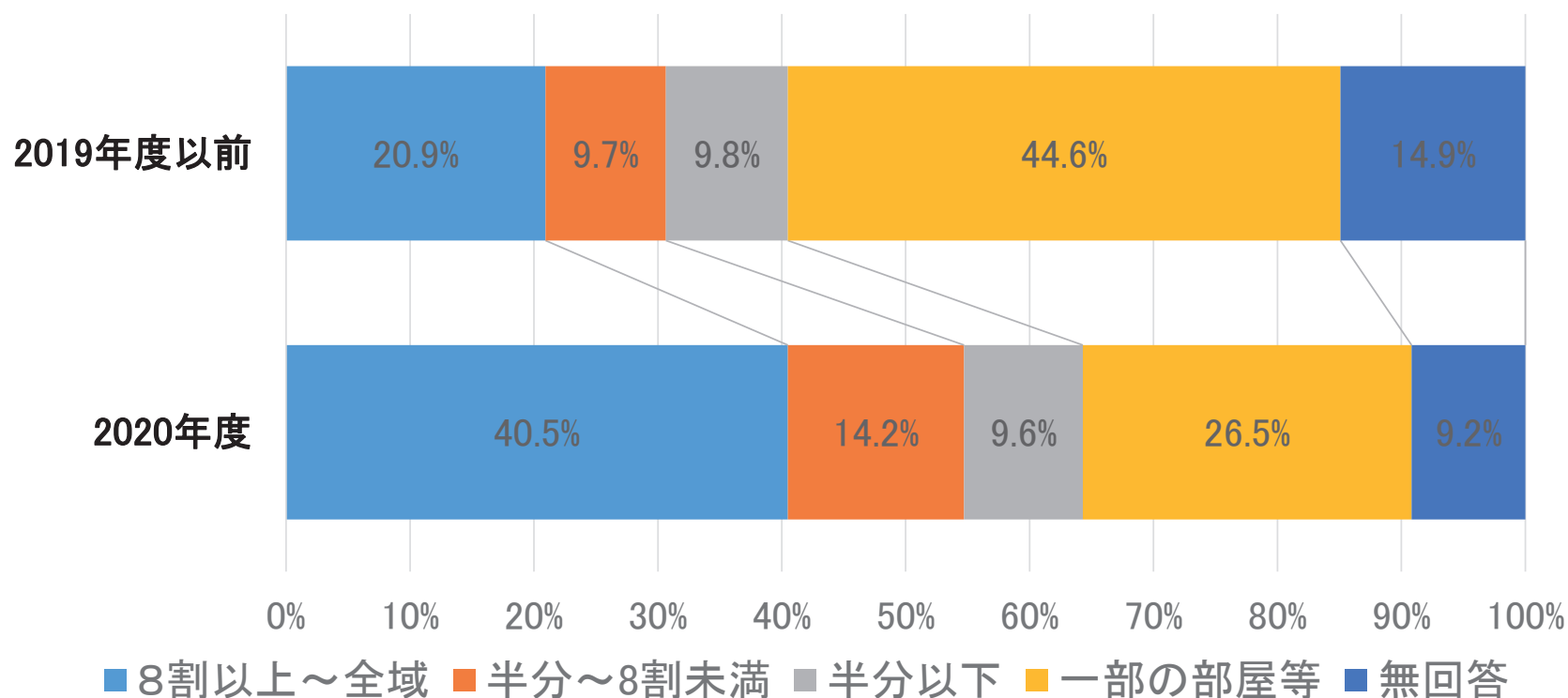
看護技術演習開始状況	非対面方式での演習実施状況	回答校数	割合
演習を開始できている 718校	実施している	526校	72.0%
	実施していない	183校	25.0%
	無回答	5校	0.7%
演習を開始できていない		4校	0.5%
演習開始状況 無回答		13校	1.8%
計		731校	100.0%

※ 本調査報告書(冊子)中では、回答日時点で演習を開始できている714校を母数とした割合を紹介している。

8. ICT活用教育の状況 1 : 2019年度以前と2020年度の比較

校内でWi-Fiに接続できる場所(空間)

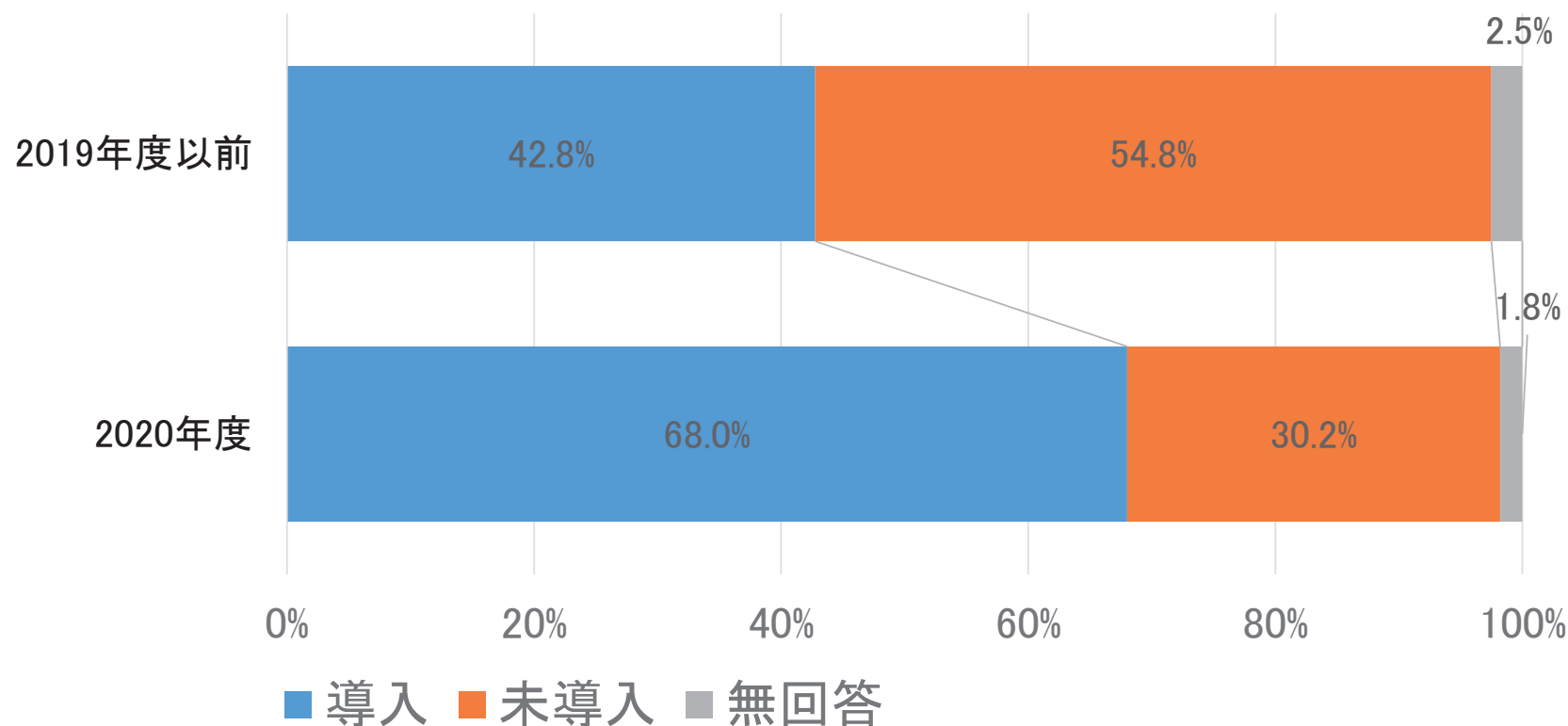
回答母数731校



2020年度に入り、Wi-Fi接続エリアを拡張した養成校が多い。

9. ICT活用教育の状況 2 : 2019年度以前と2020年度の比較

学生が、パソコン、タブレット等を利用して学習する授業

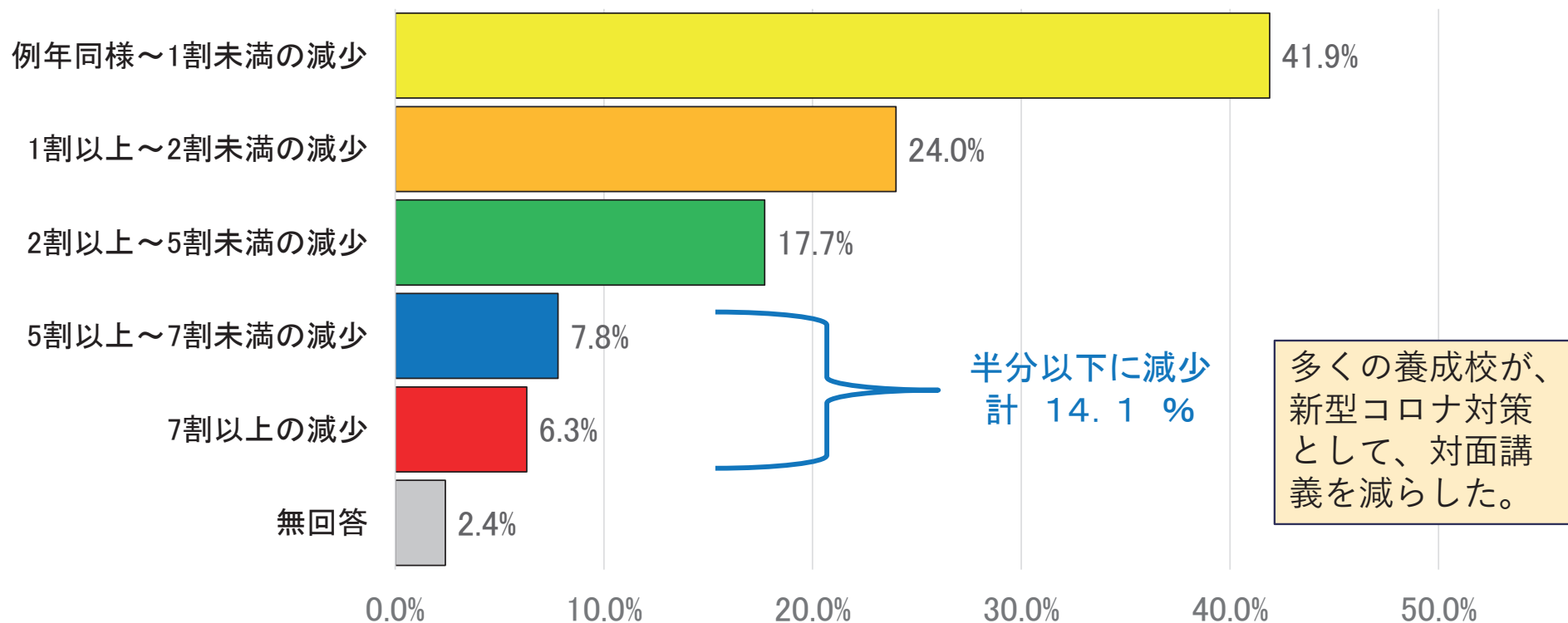


2020年度に入り、学生が、パソコン・タブレット等の個人デバイス（貸与を含む）を利用して学ぶ授業を実施する養成校が増えた。

10. 対面講義の減少率 …新型コロナウイルス(COVID-19)流行の影響を受けて…

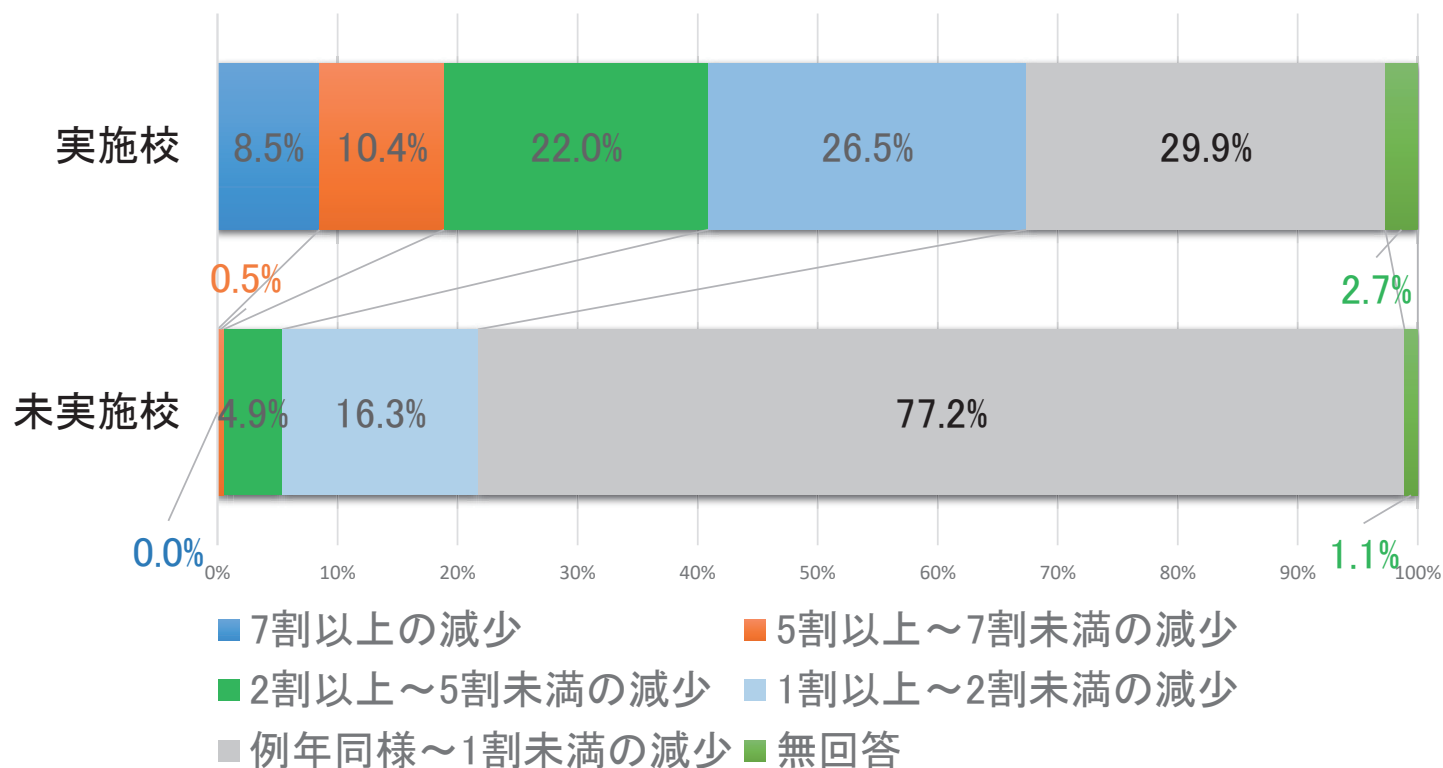
※ 例年との比較で、本年度の対面での講義はどの程度減少したか。

※ 回答日時点で、講義を開始できていない2校と開始状況無回答11校を除外した計718校の集計



11. 対面講義の減少率比較 非対面講義実施校(528校)と未実施校(184校)の比較

※ 例年との比較で、本年度の対面しての講義はどの程度減少したか。



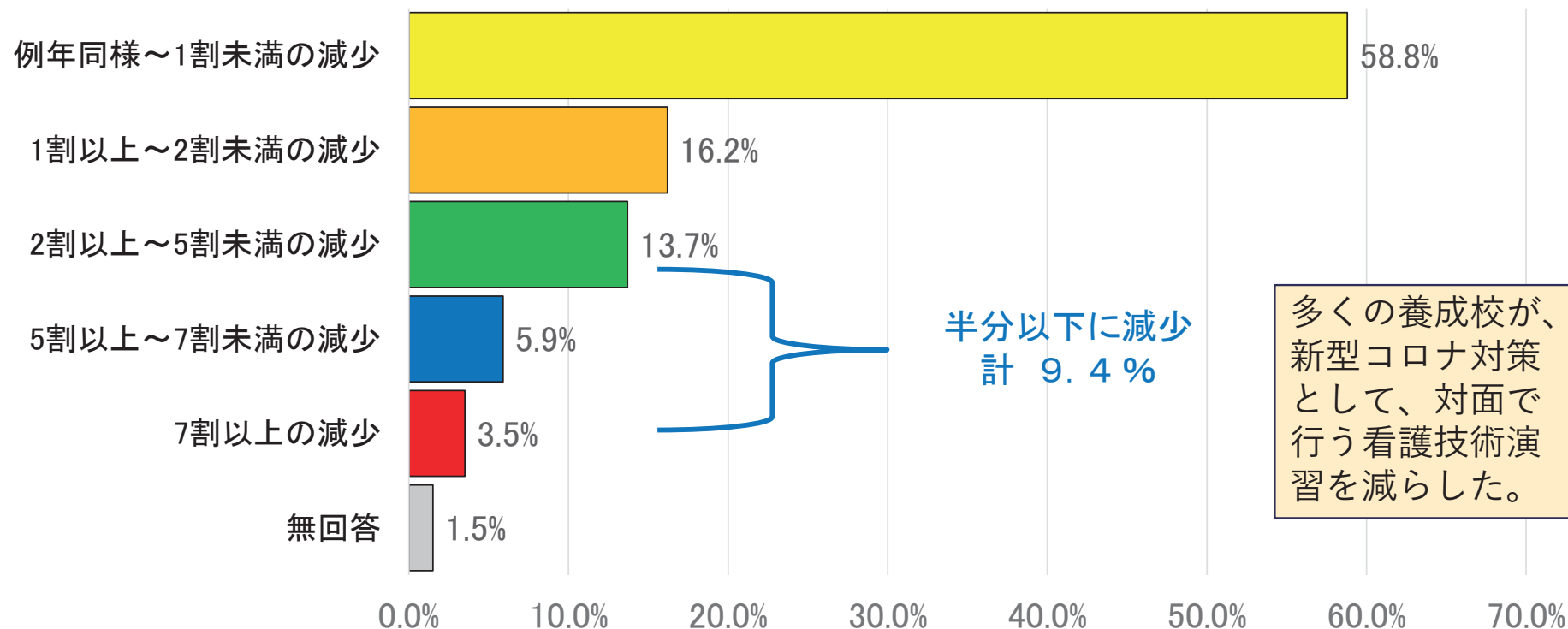
非対面方式講義未実施校の77.2%は対面授業の減少は1割未満と少ないが、実施校の70%弱では対面授業を、2割～7割以上減少させている。

12. 対面での看護技術演習の減少率

…新型コロナウイルス(COVID-19)流行の影響を受けて…

※ 例年との比較で、本年度の対面での看護技術演習(時間比較)はどの程度減少したか。

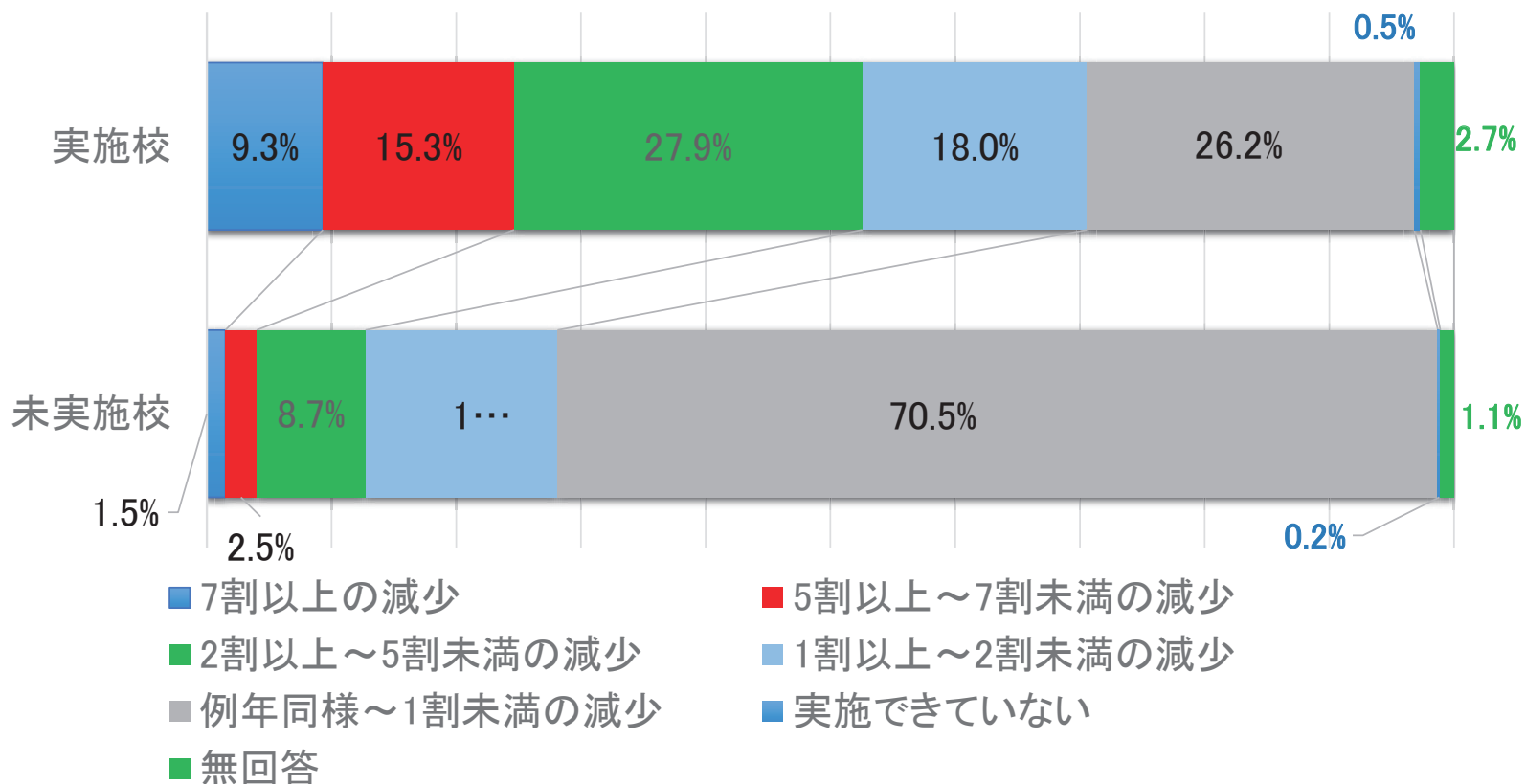
※ 回答日時点で、講義を開始できていない4校と開始状況無回答17校を除外した計714校の集計



13. 対面での看護技術演習の減少率比較

非対面方式の看護技術演習実施校(183校)と未実施校(526校)の比較

※ 例年との比較で、本年度の対面(教員と学生の対面)しての看護技術演習はどの程度減少したか。

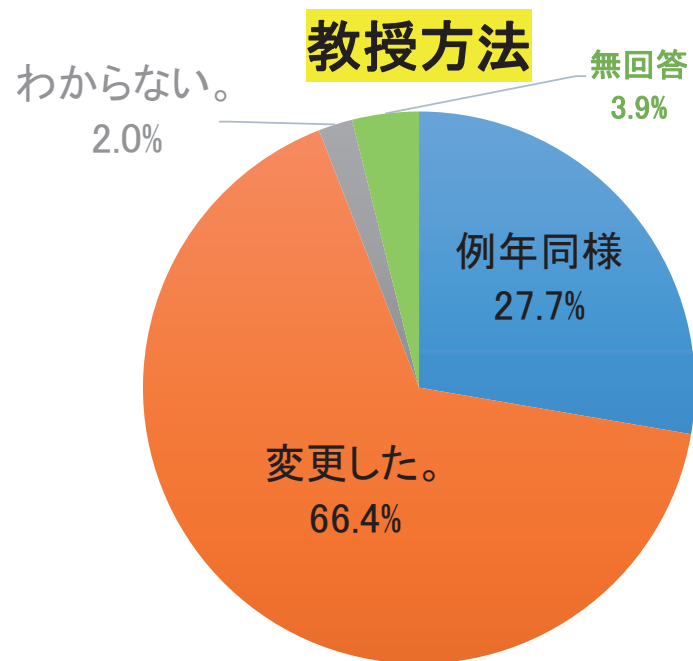
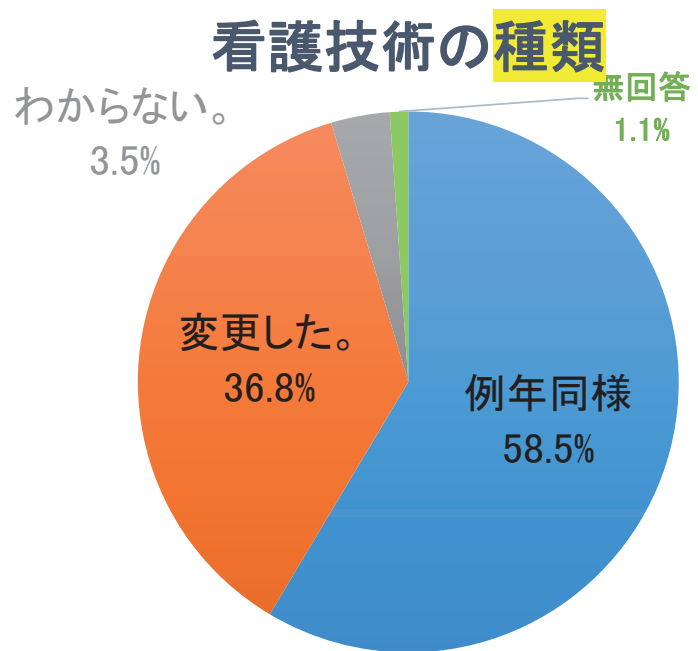


非対面方式未実施校の70.5%は対面での看護技術演習の減少が割未満と少ないが、実施校の約70%では対面授業を、2割～7割以上減少させている。

14. 看護技術演習の「教授方法」と「技術の種類」の変更状況

.....新型コロナウイルス感染対策の影響.....

※ 看護技術演習を開始できている714校の回答集計



看護技術演習では、36.8%が「演習で扱う看護技術の種類」を変更し、66.4%が「看護技術の教授方法」に何らかの変更を加えたことがわかった。

■ 例年同様 ■ 変更した。 ■ わからない。 ■ 無回答

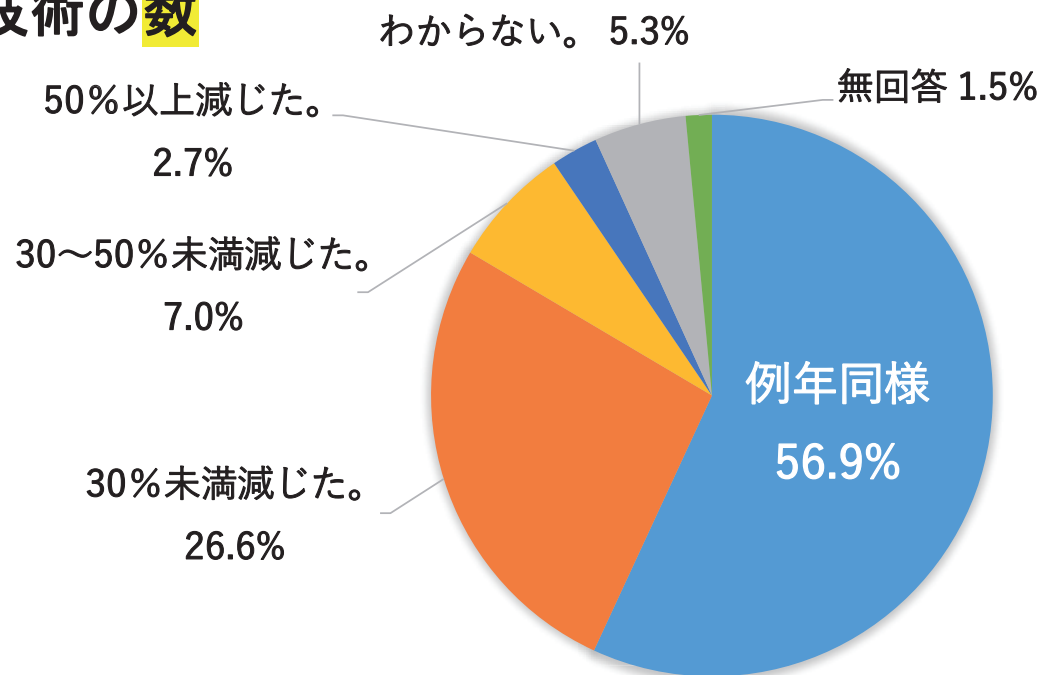
■ 例年同様 ■ 変更した。 ■ わからない。 ■ 無回答

15. 看護技術演習で扱った「看護技術の数」の減少幅

.....新型コロナウイルス感染対策の影響.....

※ 看護技術演習を開始できている714校の回答の集計

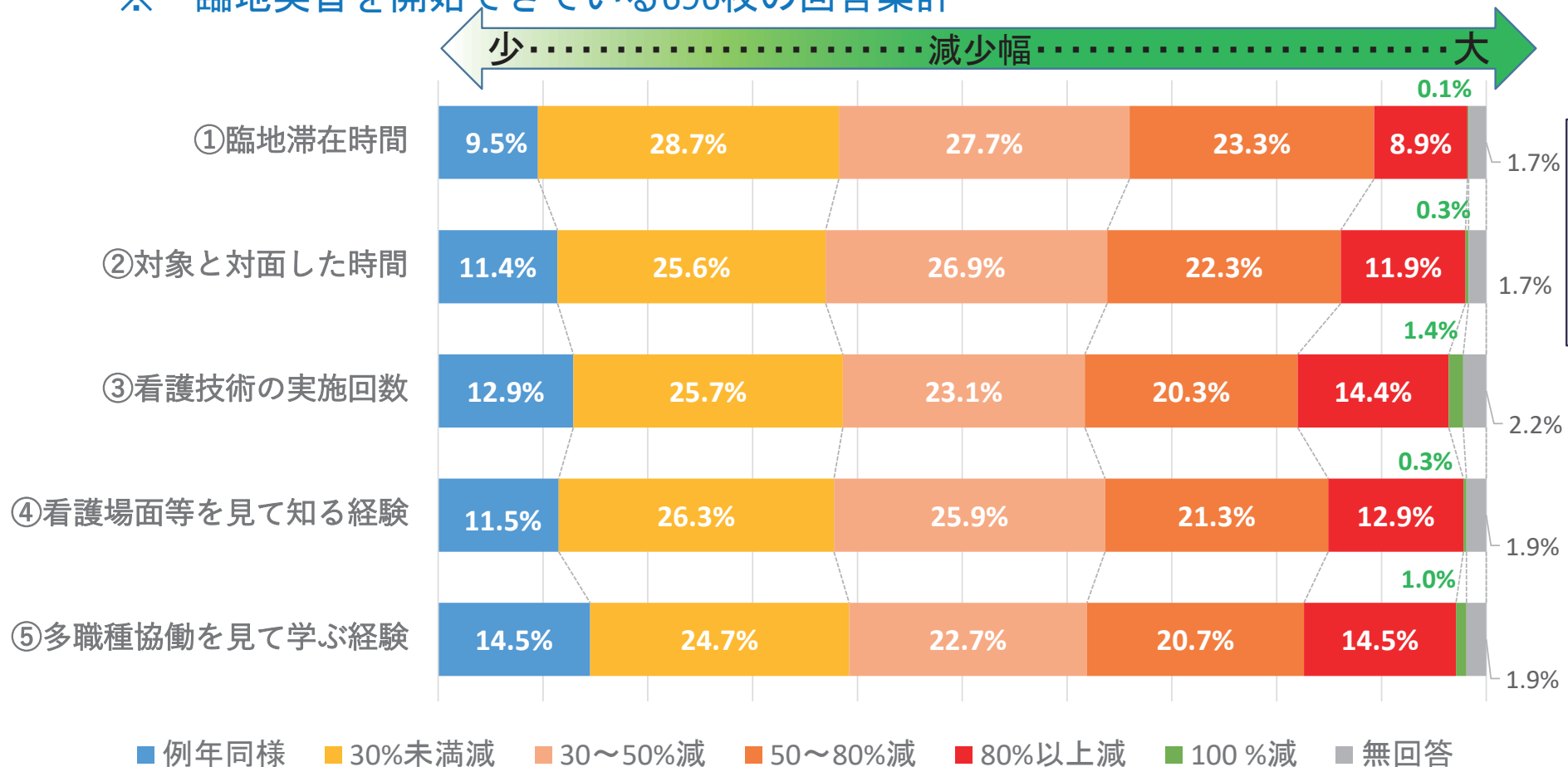
看護技術の数



36.3%の養成校が「演習で扱う看護技術の数」を例年より減らしたことがわかった。

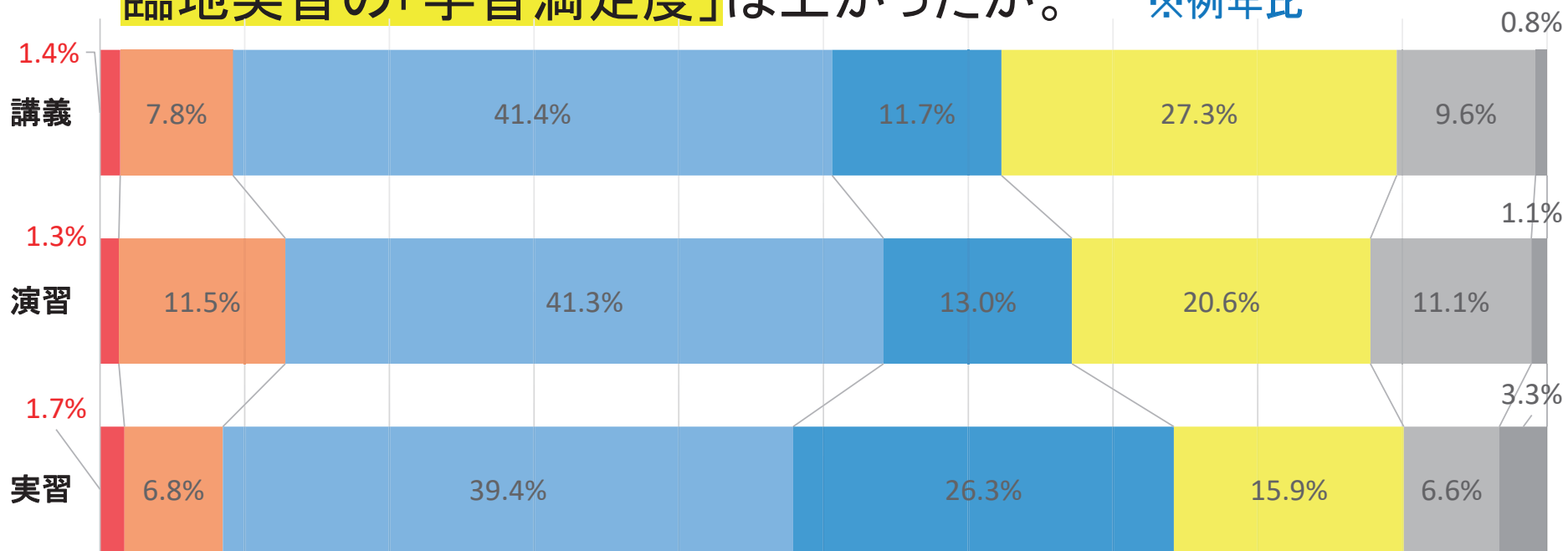
16. 新型コロナウイルス感染拡大の臨地実習への影響

※ 臨地実習を開始できている696校の回答集計



①～⑤のいずれも、減少(例年比)が目立つ。

17. 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の影響を受け 看護学生の講義・看護実技演習の「学習モチベーション」、 臨地実習の「学習満足度」は上がったか。 ※例年比



実施校の回答集計

講義	718校
看護技術演習	714校
臨地実習	696校

- 1. 非常にそう思う。
- 2. ややそう思う。
- 3. あまりそう思わない。
- 4. 全くそう思わない。
- 5. 学生による差が大きく、全体傾向を捉えにくい。
- 6. わからない。
- 無回答

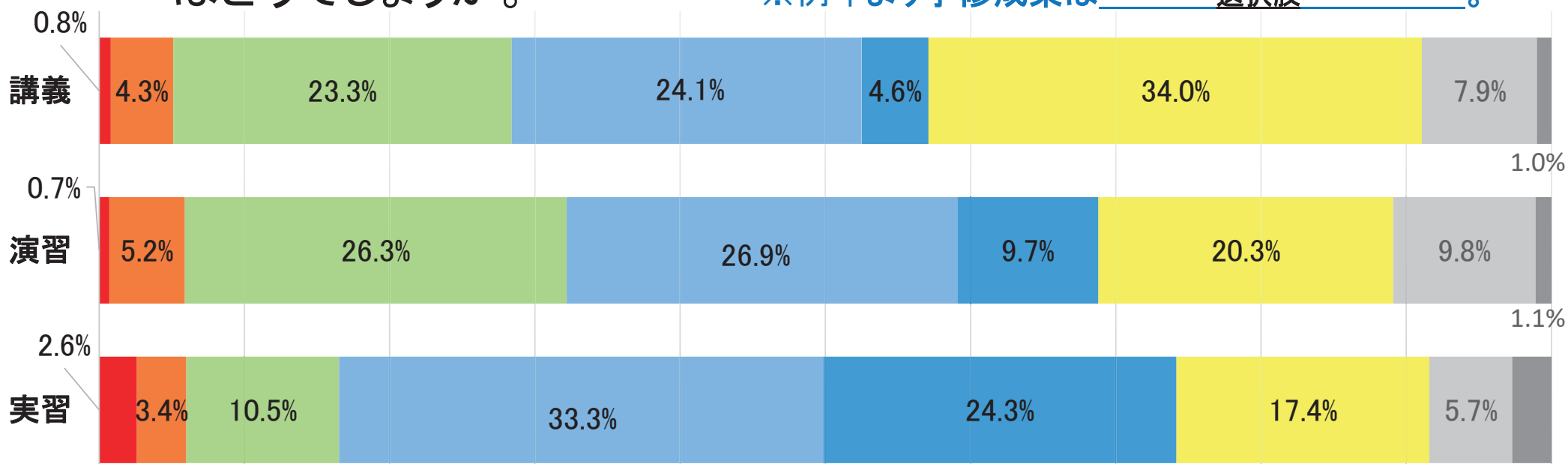


一般社団法人 日本看護学校協議会 共済会
Japan Nursing School Benefit Association

講義、演習、実習のいずれも、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」が占める割合が高い。また、「学生による差が大きく、全体傾向を捉えにくい」という回答が少なくない。

18. 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大により 看護学生の講義・看護実技演習・臨地実習の「学修成果」 はどうでしょうか。

※例年より学修成果は 選択肢。



実施校の回答集計	
講義	718校
看護技術演習	714校
臨地実習	696校

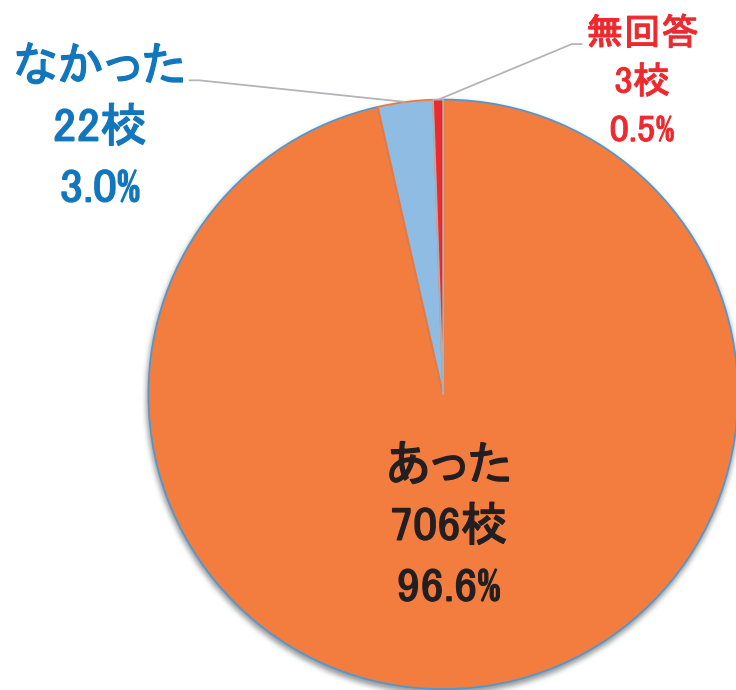
- 1. とても大きい。
- 2. やや大きい。
- 3. 例年同等。
- 4. やや少ない。
- 5. とても少ない。
- 6. 学生による差が大きく、全体傾向を捉えにくい。
- 7. わからない。
- 無回答

講義は「学生による差が大きく、全体傾向を捉えにくい」という回答が34.0%と最多。演習は「例年同等」「やや少ない」が50.0%強を占め、実習は「やや少ない」「とても少ない」が60.0%弱であった。

19. 実習施設から受け入れ不可の連絡を受けたこと

……新型コロナウイルスの影響……

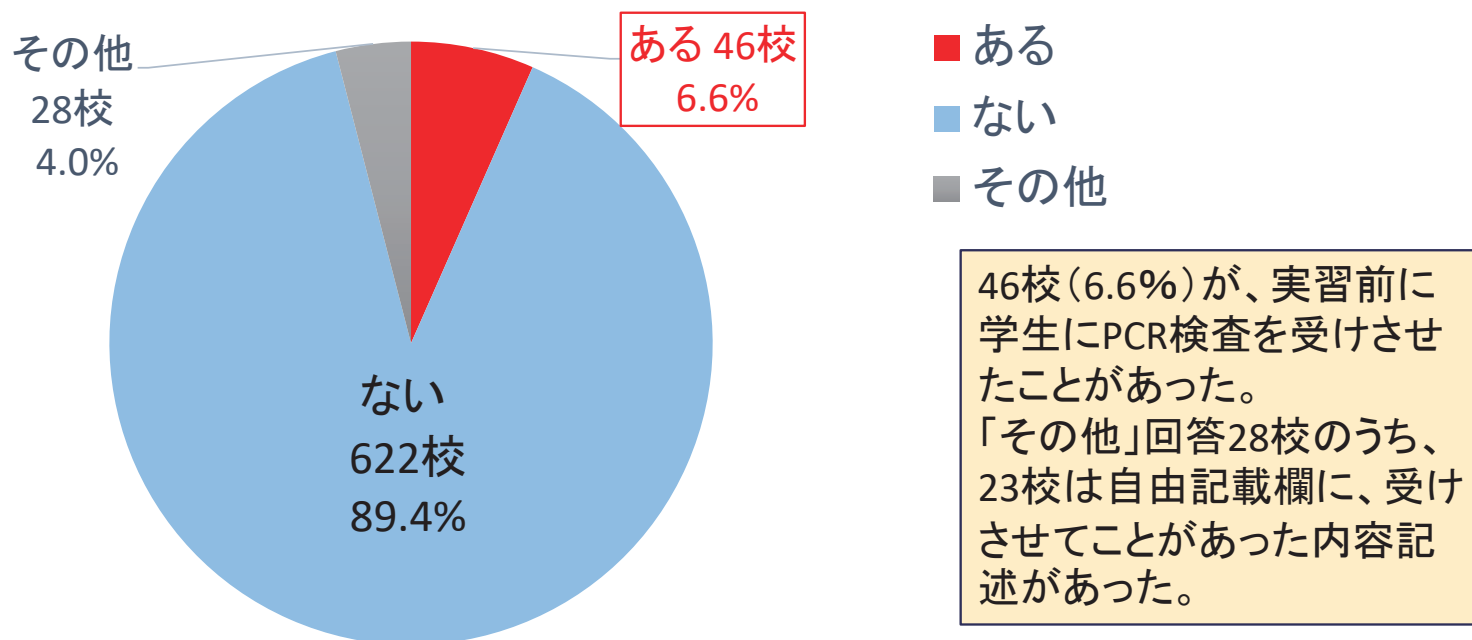
※ 臨地実習を開始できている696校の回答集計



731校中706校(96.6%)は、
新型コロナウイルスの影響で臨地実
習の受け入れ不可の連絡を
受けたことがあった。

20. 学生が臨地実習に出る前に、**症状の有無や行動履歴等とは関係なくPCR検査を受けさせること。**

※ 臨地実習を開始できている696校の回答の集計



21. 臨地実習前に 学生にPCR検査を受けさせたこと、その際の費用負担

※ 実習前にPCR検査を受けさせたことがある46校の回答の集計

PCR検査の際の費用負担

学校負担	22	47.8%
学生負担	7	15.2%
学校が一部負担 (学生負担有り)	4	8.7%
実習施設負担	6	13.0%
その他	5	10.9%
無回答	2	4.3%
合計	46	100.0%

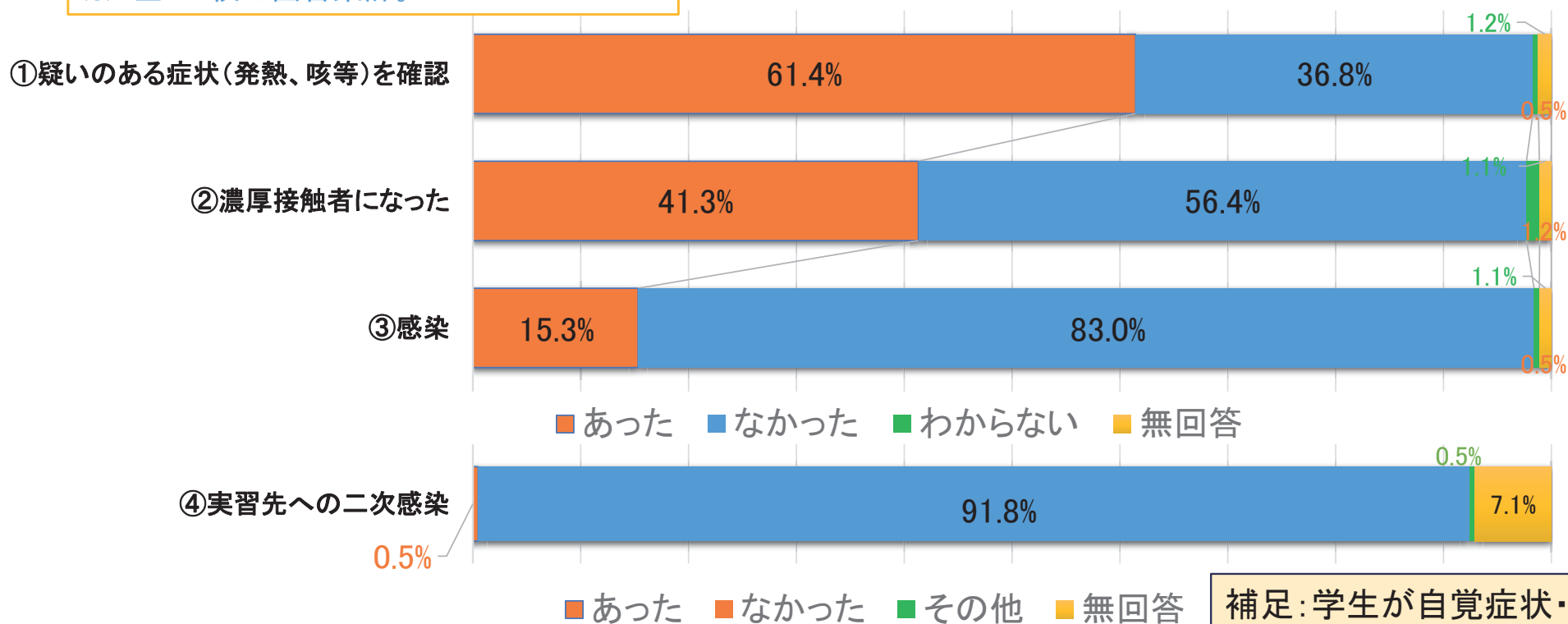
11校で、実習前のPCR検査費用を一部あるいは全額、学生が負担していたことがわかった。



22. 看護職養成校での 新型コロナウイルス(COVID-19)感染の状況

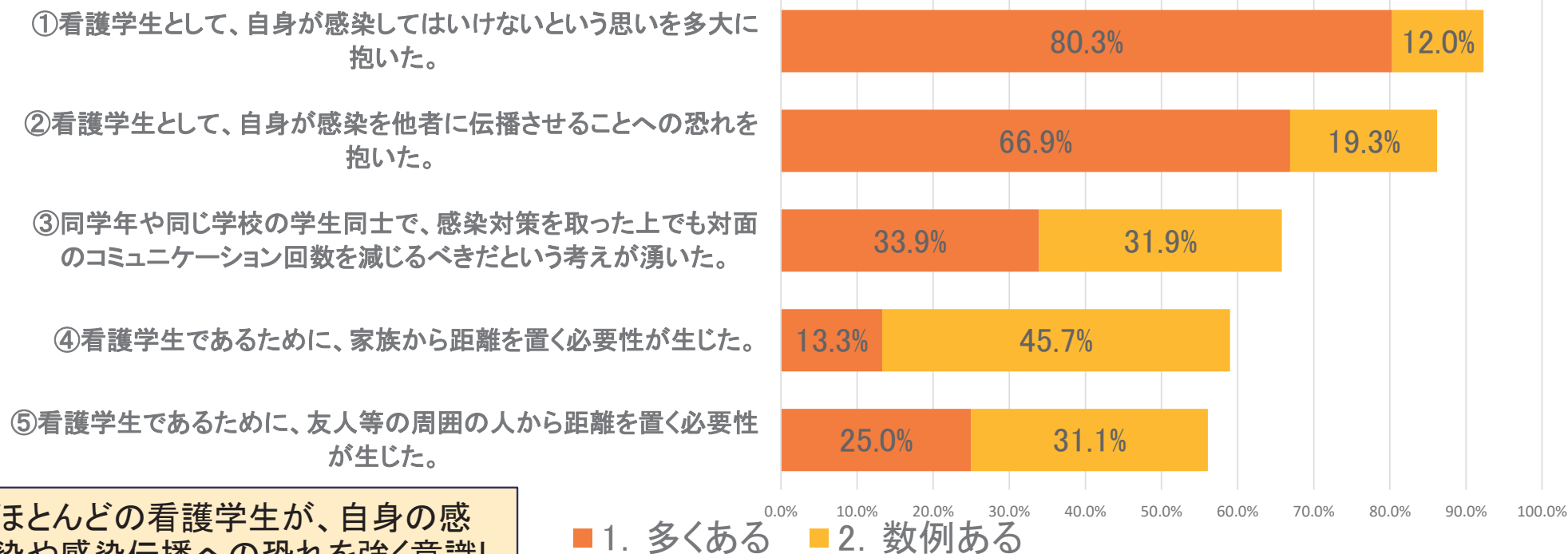
2020年11・12月のアンケート回答日時点について

- ※ 1例でもあった場合は「あった」と回答。
- ※ 全731校の回答集計。



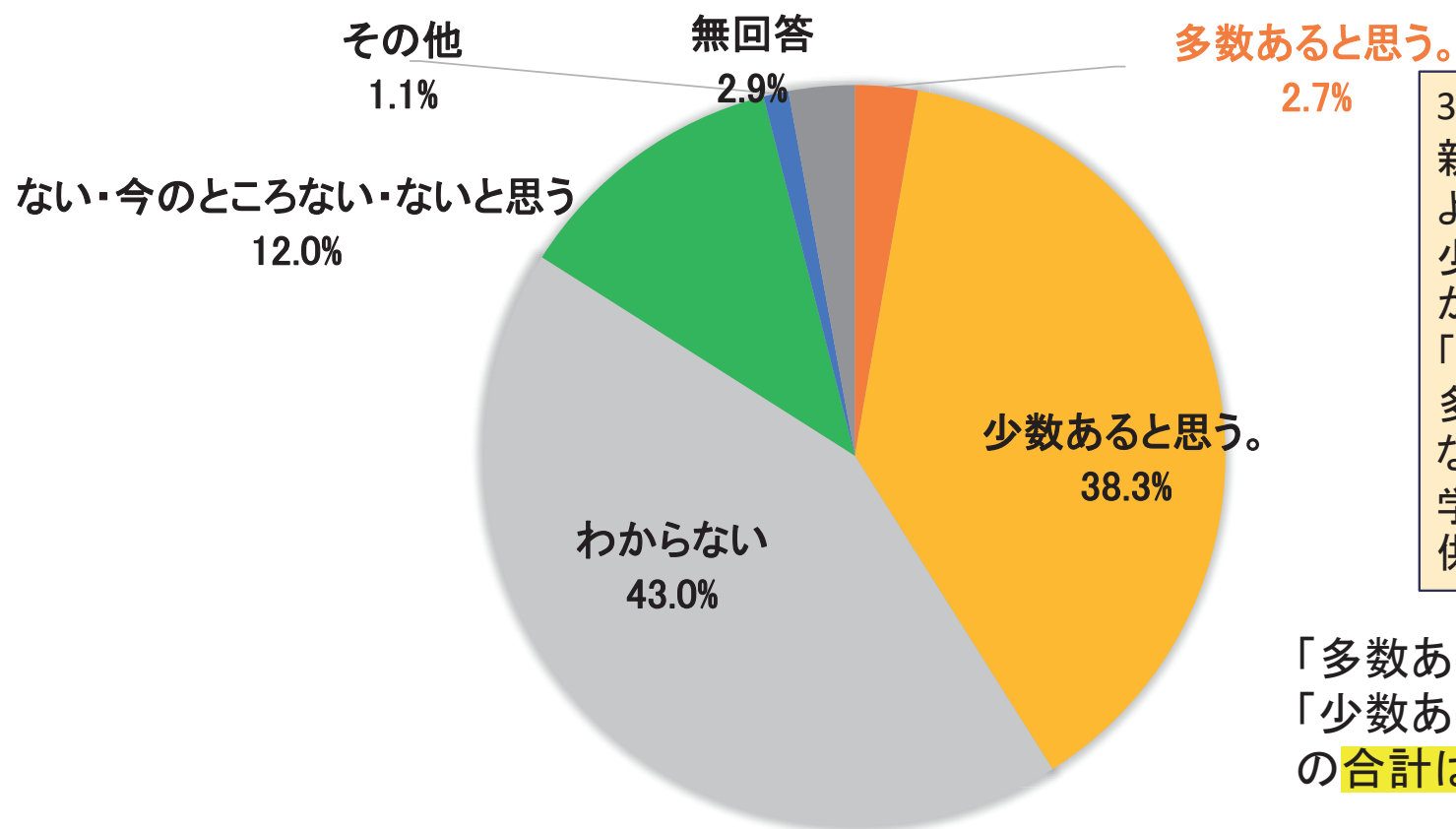
補足: 学生が自覚症状・行動履歴等の日々の記録等を行い、養成校教員とデータを共有した結果の回答である。

23. 新型コロナウイルス(COVID-19)の流行に関連した学生の感じ方等 (回答者の把握の範囲内での回答)



ほとんどの看護学生が、自身の感染や感染伝播への恐れを強く意識し、ソーシャル・ディスタンスを保った日々を過ごしていることがわかる。

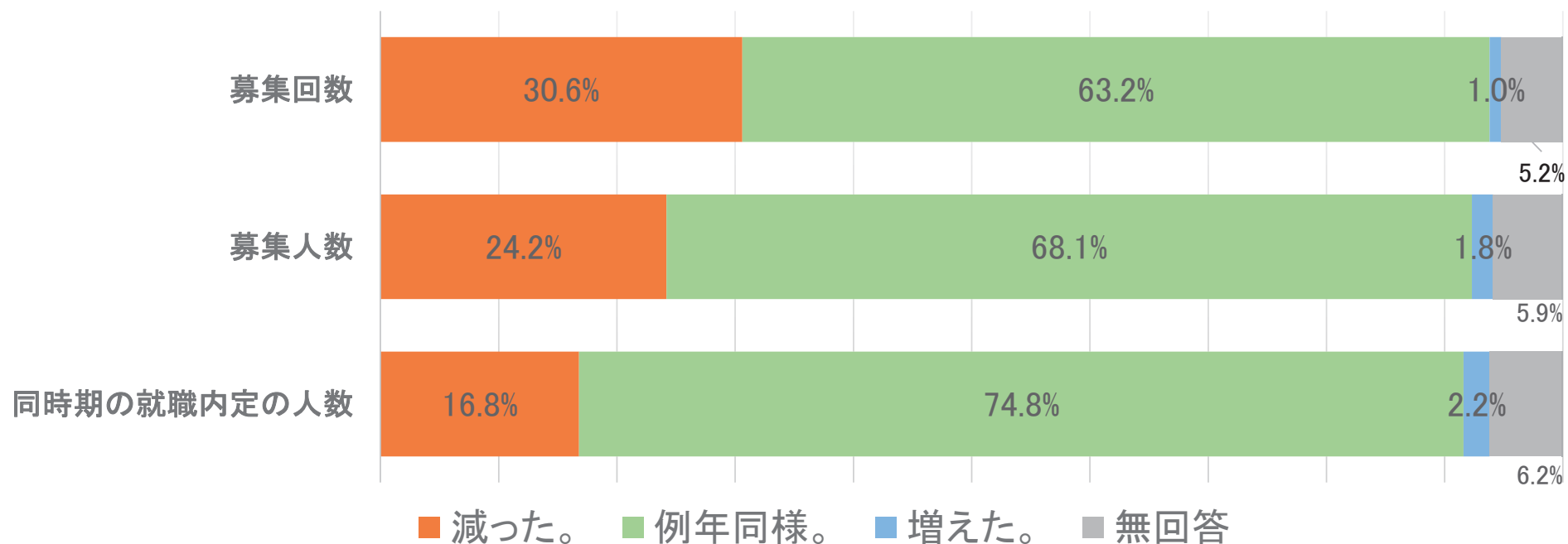
24. 新型コロナウイルス(COVID-19)による様々な状況変容が関連し、 “休学や退学”につながった・つながりそうな事例があるか



38.3%の教員(回答者)が、新型コロナに関連した背景・理由によって「休学や退学」を考える学生が少数いるであろうことを把握してことがわかる。「わからない」という回答も43.0%と多く、「ない」という回答は12.0%と少なかった。学生からの相談受け付け、支援提供が必要性は高い。

「多数あると思う」と
「少数あると思う」
の合計は41.0%

25. 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大に関連した 就職に関する変化: 募集回数・募集人数・同時期の内定数



2020年度の卒業生の就職活動においても、新型コロナは強く影響し、募集回数減、募集人数減、内定時期が遅くなる等の影響があったことがわかった。2021年度の卒業生の就職についても傾向を注視し、希望に沿った就職がかなうようサポートが必要であろう。

非常に多くの看護職養成校の皆様にご協力を賜り、今回、調査結果をまとめることができました。

心より、感謝申し上げます。

本調査結果が、いまだ猛威をふるい続ける新型コロナ対応、安心・安全な教育について、看護教育の一部ICT化等々、様々な議論を行う際に役立つ資料となることを願います。

2021年2月15日

一般社団法人日本看護学校協議会共済会
会長 荒川 眞知子

